



2008年岩手・宮城内陸地震における一迫、衣川震度観測点の フーリエスペクトルと応答スペクトルの推定

西川隼人¹⁾、宮島昌克²⁾

- 1) 正会員 舞鶴工業高等専門学校、技術職員 博士(工学)
e-mail : nisikawa@g.maizuru-ct.ac.jp
- 2) 正会員 金沢大学理工研究域環境デザイン学系、教授 工博
e-mail : miyajima@t.kanazawa-u.ac.jp

要 約

本論文では2008年岩手・宮城内陸地震において震度6強を観測しながら、地震波形が現存していない一迫、衣川震度観測点の加速度フーリエスペクトルと加速度応答スペクトルを推定した。まず、マグニチュード6~7クラスの地殻内地震で得られた地震観測記録を用い、最大加速度、計測震度、地震動スペクトルの卓越周期によって加速度フーリエスペクトルと加速度応答スペクトルの推定式を求めた。続いて、推定式を求める際のデータに含まれていない自治体観測点に対して、加速度フーリエスペクトルと加速度応答スペクトルを推定したところ、観測値と概ね対応した。最後に一迫、衣川観測点の加速度フーリエスペクトルと加速度応答スペクトルを推定したところ、周期1秒以下の短周期成分が卓越することが明らかになった。

キーワード： 2008年岩手・宮城内陸地震、自治体観測点、最大加速度比、卓越周期、フーリエスペクトル、応答スペクトル